

第44回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2017年10月23日(月) 17:30より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)303号室

Title

極東スポーツ圏から見たフィリピンと日本の交流
(1912-1941)

高嶋 航 先生

(京都大学)

日本とフィリピンのスポーツ交流は1912年に始まる。翌年にはフィピン、中国、日本が参加して極東大会が開催され、1920年代に日本とフィピンは極東の覇権を目指して激戦を繰り広げた。極東大会を通じて、極東にはスポーツの交流圏というべきものが形成された。本報告は戦前の日本(植民地を含む)とフィリピンのスポーツを通じた関係を数量的に把握し、両者の関係が極東スポーツ圏のなかでいかなる位置を占めたのか、1934年の極東大会解散後にどのような変化が生じたのかについて、初歩的な考察を試みる。

<プロフィール>

高嶋 航

1970年、大阪府生まれ。京都大学大学院文学研究科准教授。専攻は東洋史。著書に『帝国日本とスポーツ』(塙書房)など。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・小木曾航平
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: kogisok@aoni.waseda.jp